

一般常識 1 (解答番号  ~ )

2020 年度

各問題に対する解答はマークシートの解答欄にマークすること。例えば  と表示のある問題に対して④と解答する場合は、マークシート  の解答欄の④にマークすること。

1 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する次の問いに対して、それぞれ答えなさい。

- (1) 1964 年東京大会の選手村は ( ア )、2020 年東京大会の選手村は ( イ ) に所在している。空欄 ( ア ) と ( イ ) に当てはまる組み合わせのうち正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① ア：世田谷区の駒沢公園      イ：江東区の有明  
② ア：渋谷区の代々木公園      イ：中央区の晴海  
③ ア：立川市の昭和記念公園      イ：港区の台場  
④ ア：世田谷区の駒沢公園      イ：中央区の晴海

- (2) 1964 年東京大会の際には、首都高速道路において ( ア ) の上を走る高架構造の区間が誕生したが、21 世紀に入ると景観・水質の悪化や大気汚染の要因として改善を求める声上がり、2020 年以降に向けて、一部区間を地下化することで、周辺エリアに快適な歩行空間や水辺空間を取り戻す方針が決まっている。空欄 ( ア ) に当てはまる川名を次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 隅田川      ② 日本橋川      ③ 渋谷川      ④ 江戸川

- (3) 2019 年 11 月 30 日に全面建て替え工事を経て、明治神宮外苑に新しい国立競技場が完成した。大会開催後の運営方式をめぐっては、コンセッション方式が導入されることが見込まれている。コンセッション方式に関する説明として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 管理システムの徹底に伴うセキュリティの強化  
② 公共施設等の運営権を民間事業者に売却する民営化  
③ 入札システムの透明化に伴う審査の公平性の確保  
④ 指定管理者の選定による公的施設の管理委託

2 国の観光政策に関する次の問いに対して、それぞれ答えなさい。

- (1) 日本では近年、日本再興戦略の中で「2030 年にはアジア No.1 の国際会議開催国として不動の地位を築く」という目標を掲げ、国際会議の誘致に力を入れているが、ICCA (International Congress and Convention Association) のアジア太平洋地域における国別国際会議の開催件数 (2018 年) について、上位 3 か国 (順不同) を並べたものとして、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① オーストラリア、シンガポール、中国  
② シンガポール、タイ、日本  
③ 日本、中国、韓国  
④ 中国、オーストラリア、日本

(2) 2018 年に国際観光旅客税法が成立し、2019 年より国際観光旅客税の運用が開始された。この税収の使途として、初年度のケースについて、以下のうち適切なものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 住宅宿泊事業を円滑に進めていくため、民泊の管理運営および予約システムに必要な設備投資など、特に新規性・緊急性の高い施策に充当されている。
- ② インバウンド促進の観点から、全国各地のプロモーションおよび「面」的な魅力向上に向けて、中長期的な観点から必要となるマネジメントの資金に充当されている。
- ③ 空港の顔認証ゲートや税関検査場での電子申告ゲートの整備をはじめ、税関・出入国審査・検疫など、特に新規性・緊急性の高い施策に充当されている。
- ④ 羽田空港および成田空港の国際線拡充に伴い、新ターミナルの建設や周辺ホテルの整備など、中長期的な観点から必要となる設備投資に充当されている。

(3) 2016 年 3 月の「明日の日本を支える観光ビジョン」では、高齢者、家族連れや重い荷物を持った人など、すべての旅行者がストレスなく快適に観光を満喫できる環境づくりが必要であるとの視点が明記された。このことに関連する説明として、適切なものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 全国の観光地や交通機関などで高水準の「ユニバーサルデザインの街づくり」を推進し、心のバリアフリーについては、建築面などハードのバリアフリー化を実現した後に進めていく方針が打ち出された。
- ② ユニバーサルツーリズムの商品開発についてはもっぱら民間が主要な担い手となり、今後は効率的なマネジメントが必要であるとの方針が確定した。
- ③ 不特定多数の人が利用する特定の建築物や公共交通機関について、高齢者や身体障がい者が円滑に移動できるような整備を促すため、バリアフリー化が義務付けられた。
- ④ 1 日の乗降客数が 3,000 人以上の旅客施設や特定道路について、2020 年度までに原則 100%のバリアフリー化を実現するなど、具体的な整備目標を達成する方針が打ち出された。

3 訪日外国人旅行者の消費動向に関する次の各問いに対して、それぞれ答えなさい。

(1) 2019 年の訪日外国人旅行者 1 人当たりの旅行支出は、平均 15 万 8,531 円であった。このうち宿泊費について国籍・地域別に見たとき、多い順に 3 つ並べたものとして、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 英国、フランス、オーストラリア
- ② 米国、ドイツ、インド
- ③ 中国、台湾、香港
- ④ 中国、シンガポール、ベトナム

- (2) 訪日外国人旅行者による日本国内での消費は、国際収支における「貿易・サービス収支」の一部で旅行収支の「収入」に当たり、反対に、日本人旅行者による海外での消費は旅行収支の「支出」に当たる。2019 年までの日本の旅行収支に関する記載として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 1990 年代以降、日本経済の低迷に伴い横ばい状態が続いているが、ここ数年は黒字幅が減少傾向にある。
- ② 21 世紀に入って以降、黒字幅は年々増加し、2018 年には最大の 1.2 兆円を記録している。
- ③ 2003 年のビジットジャパン・キャンペーン以降、支出が収入を上回る赤字の構造から脱して黒字となった。
- ④ 2010 年代に入ると赤字幅が減少して 2015 年に黒字に転化し、2019 年には約 2.7 兆円の黒字となった。

8

- (3) 訪日外国人による 2019 年の旅行消費額は過去最多を記録した。費目別の構成比の多い順に並べたうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 買物代 > 宿泊料金 > 飲食費 > 交通費 > 娯楽等サービス費 > その他
- ② 宿泊料金 > 飲食費 > 買物代 > 娯楽等サービス費 > 交通費 > その他
- ③ 交通費 > 娯楽等サービス費 > 宿泊料金 > 買物代 > 飲食費 > その他
- ④ 娯楽等サービス費 > 買物代 > 交通費 > 飲食費 > 宿泊料金 > その他

9

- (4) 2019 年の訪日外国人旅行者 1 人当たりの平均的な日本での宿泊日数について、国籍・地域別に見たとき、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 中国・韓国・台湾・香港からの旅行者は、いずれも 5 日以内である。
- ② 東南アジア（特にタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）からの旅行者は、いずれも 5 日以上 10 日以内である。
- ③ 欧米豪（特に英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダ、オーストラリア）からの旅行者は、いずれも 10 日以上である。
- ④ インドとロシアからの旅行者は、いずれも 20 日以上である。

10

- (5) 日本人と訪日外国人旅行者を合わせた延べ宿泊者数について、2018 年のデータを都道府県別に算出すると、訪日外国人旅行者による延べ宿泊数の割合が高い上位 3 都道府県は、( ア ) である。空欄 ( ア ) に当てはまる都道府県として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 京都府・北海道・沖縄県
- ② 京都府・大阪府・福岡県
- ③ 大阪府・東京都・京都府
- ④ 大阪府・福岡県・愛知県

11

4 IR (統合型リゾート) に関する次の問いに対して、答えなさい。

日本では、国際会議場、展示場、劇場、宿泊施設、ショッピングモール、カジノ等を含む IR (統合型リゾート) の誘致・実現に向けて、制度的な基盤の整備が進められている。この動きに関わりの深い説明として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。 (2点)

- ① 2018年7月に特定複合観光施設区域整備法が成立・公布された。
- ② 2018年4月に国際観光振興法が成立・公布され、同年8月に内容の拡充を伴う改正がなされた。
- ③ 2011年8月に総合特別区域法が公布され、国際戦略総合特区事業が開始された。
- ④ 2018年1月に旅行業法が一部改正された。

5 地域の活性化に関する次の問いに対して、それぞれ答えなさい。

(1) 近年、地域の観光まちづくりに貢献する役割を期待され、観光地域づくり法人 (DMO) にますます注目が集まっている。観光地域づくり法人 (DMO) に関する記載として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。 (2点)

- ① 地方創生に資するべく、地域に観光客・ツーリストを送り出す都市部の旅行業者の役割がますます重要になることから、その支援を行うことが期待されている。
- ② 観光ビジョンに掲げられたインバウンド対応の目標達成に向けて、全国一律の定量的な基準で各地のマーケティングを行い、均一にマネジメントすることが期待されている。
- ③ 1998年に日本での認定・登録制度が創設され、2019年現在では全国で5万法人を超えている。
- ④ 2018年に観光庁で検討会が開催されるなど、世界水準の観光地域づくり法人 (DMO) の形成・確立に向けて取組みが本格化している。

(2) 近年、スポーツを核としたまちづくりの観点から、スタジアム・アリーナ等の役割と機能に注目が集まっている。その際、従来のような単機能型のスポーツ施設ではなく、例えば様々なイベントを開催でき、周辺に商業施設を配するような多機能で複合的な機能を組み合わせた交流施設として、広く周辺地域のエリアマネジメントや地域活性化に資する役割が期待されている。こうしたスタジアム・アリーナ等に対する考え方に関わりの深い概念として、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。 (2点)

- ① スマート・ベニュー
- ② スマート・シティ
- ③ コンパクトシティ
- ④ ユニーク・ベニュー

- (3) 農林水産省は、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を(ア)として選定し、全国への発信を通じて地域への展開を図っている。2014年の第1回から2019年の第6回までに計174地区が選定されている。空欄(ア)に当てはまる用語として、正しいものはどれか。次の①~④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 創造農村セレクション
- ② ディスカバー農山漁村の宝
- ③ 農山漁村百選
- ④ グッドライフアワード

- 6 国立公園の取組みに関する次の問いに対して、答えなさい。

現在、日本の豊かな自然資源を観光資源として効果的に活用するため、「国立公園満喫プロジェクト」を推進し、国立公園を世界水準のナショナルパークとする取組みが実施されている。その内容として、以下のうち正しいものはどれか。次の①~④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 外国人の国立公園利用者数を、2015年の43万人から2020年までに100万人へと増やすために多様な取組みが進められている。
- ② もっぱら自然保護の観点から優れた自然環境をできるかぎり保全し、また科学的な学術研究の対象とするためのさまざまな施策が進められている。
- ③ 生物の観察ツアーやガイド付きツアーなど自然体験型コンテンツの創出のほか、質の高いホテルやカフェの誘致など民間との連携が進められている。
- ④ 全国のすべての国立公園で一斉にプロモーションを強化し、旅行業者と連携しながら旅行商品の開発を目的として進められている。

- 7 働き方改革に関する次の問いに対して、答えなさい。

2018年7月に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が公布され、2019年4月に施行された。このことに関連する説明として、正しいものはどれか。次の①~④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 労働基準法も改正され、すべての企業で年10日以上、年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられた。
- ② 年次有給休暇について、現状の約50%という取得率(2016~17年現在)を改善し、2020年までに約90%以上に向上させることを目指すことが明記された。
- ③ 労働基準法も改正され、使用者は労働者ごとに年次有給休暇管理簿を作成し、時季・日数・基準日など必要事項を記入したうえで、5年間保存することが義務付けられた。
- ④ パートタイム労働者など、所定労働日数が少ない労働者については、年次有給休暇の取得は義務の対象とはならず、労働者ごとの任意に委ねられることになった。

8 性の多様性を認める取組みに関する次の問いに対して、答えなさい。

21 世紀に入って以降、性的マイノリティ（少数者）が差別や偏見にさらされることなく、性の多様性を認め誰もが生きやすい社会の実現を目指した取組みが世界的に進められている。特に大規模なイベントとしては（ア）パレードが有名であり、日本でも近年（イ）のエリアを中心に毎年開催され、2019 年度は約 1 万人が行進した。空欄（ア）と（イ）に当てはまる組み合わせのうち正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。（2 点）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① ア：バリアフリー  | イ：新宿区の新宿御苑  |
| ② ア：プライド    | イ：渋谷区の代々木公園 |
| ③ ア：ダイバーシティ | イ：中央区の銀座通り  |
| ④ ア：ユニバーサル  | イ：港区の台場     |

9 世界の外国旅行の動向に関する次の各問いに対して、それぞれ答えなさい。

- (1) 国連世界観光機関（UNWTO）によると、2018 年の国際旅行者数は約（ア）億人にのぼった。世界で外国人訪問者数が一番多い国は（イ）で、2018 年は\*約 8,932 万人が訪れた。

問 1 空欄（ア）に入る数は次のうちどれか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① 4                      ② 14                      ③ 24                      ④ 34

問 2 空欄（イ）に入る語句は次のうちどれか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① スペイン              ② 米国                      ③ フランス              ④ 中国

- (2) 2018 年に、国際観光収入が最も大きかった国は（ア）で、\*約 2,146 億米ドルに達した。一方、国際観光支出が最も大きかった国は（イ）で、\*約 2,773 億米ドルに上った。

問 1 空欄（ア）に入る語句は次のうちどれか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① スペイン              ② 米国                      ③ フランス              ④ 中国

問 2 空欄（イ）に入る語句は次のうちどれか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① スペイン              ② 米国                      ③ フランス              ④ 中国

\*出典：UNWTO Basic indicators (Compendium) 2014-2018 (12.2019)

10 観光における危機管理に関する次の問いに対して、答えなさい。

日本の外務省が発出する海外危険度レベルのうち、レベル 2 の意味は次のうちどれか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 不要不急の渡航は止めてください。
- ② 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
- ③ 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)
- ④ 十分注意してください。

<一般常識> マークシート 解答 (2020年度)

問題番号	解答	配点
1	2	3
2	2	2
3	2	2
4	3	2
5	3	3
6	4	2
7	1	2
8	4	2
9	1	3
10	3	3
11	3	2
12	1	2
13	4	2
14	1	2
15	2	2
16	3	2
17	1	2
18	2	2
19	2	2
20	3	2
21	2	2
22	4	2
23	1	2